

## 第2次会津若松市食育推進計画（案）への意見募集結果

「第2次会津若松市食育推進計画」を策定するにあたり、市民意見公募（パブリック・コメント）を実施しました。その結果とお寄せいただいたご意見に対する市の考え方についてお知らせいたします。

- 1 募集期間 令和3年1月20日（水）～令和3年2月18日（木）
- 2 提出意見 1名の方から3件のご意見がありました。
- 3 意見の要旨と市の考え方 ※趣旨を損なわない程度に要約しています。

意見の要旨	市の考え方
<p>基本方針1「健康長寿を目指した食育の推進」について、食育推進計画の最初に位置づけている理由はなぜか。</p>	<p>「食」は「生きる」ために必要であり、心身ともに健康で豊かな人間性を育むために欠かせないものです。</p> <p>また、県「第二次健康ふくしま21計画」では、「健康長寿の延伸」を基本目標として位置づけ、市においても「第二次健康わかまつ21計画」の中で「健康寿命をのばす」を基本目標として位置づけています。これらを踏まえ、市民一人ひとりが健康で生き生きと自分らしく暮らすことは、元気なまちづくりにつながることから最初に位置づけています。</p>
<p>（仮称）「食のあいづっこ宣言」について、「早寝・早起き・朝ごはん」があるので、あえて設定する必要があるのか。毎月の食育の日を大切にすることはどうか。</p>	<p>（仮称）「食のあいづっこ宣言」につきましては、市民に広く食育の重要性や食育理念の理解を深めるために策定して、浸透を図るものであります。</p> <p>なお、「早寝・早起き・朝ごはん」につきましても継続して取り組んでまいります。</p> <p>また、毎月の食育の日（19日）には、広報や講座などを開催することを計画に位置付けており取組を図ります。</p>
<p>基本理念“食で育む「こころ」も「からだ」もたくましく育つあいづっこ”について「育む」「育つ」と2つ使用しているの1つにしてはどうか。</p>	<p>「食で育む」につきましては、「食」をとおして健康づくりを地域全体で見守るなどの関わりを持つこととし、「育つ」につきましては、全ての世代でこころとからだ成長する姿として位置づけたものです。</p> <p>全世代において「育つ」の趣旨が正しく伝わりにくいことなどを踏まえ、“食で育む「こころ」も「からだ」もたくましく生きるあいづっこ”といたします。</p>